

第14回 ワイン研究会 報告



まずは恒例 スパークリングワインで乾杯！

- *「ワイン研究会」の第14回例会を3月20日(金)に開催しました。

日時 平成27年3月20日 15時—17時

場所 カフェ「カサグランデ」(西武多摩湖線一橋学園駅傍)

出席者 荒木、井垣、伊藤(順)、伊藤(徹)、小川、国友、栗原、佐藤、滝沢、富平、馬場、山本、以上12名(敬称略)

- *トランプを引いての席順、ジョーカーを引いたこの日の世話役は、小川さんと「ババがババを引いたよ！」と馬場さん。



ボーイさん二人はさっそく作戦会議？



ボーイ小川さんが注いで回ります

- * 今回の持ち寄りワインは、ベトナム、セルビア、南ア産の珍しいものや、1998年などビンテージものを含んでフランス、ドイツ、チリ、アルゼンチン、日本とお馴染みの産地ワインが総数11本、ズラリとテーブルに並んだ。

- * いまや例会の恒例となったスパークリングワインで乾杯のあとは、いつものとおり山本さんの詳しい解説付きでのセルビア(旧ユーゴスラビア)2004年産「ラインリース リング」でスタート。

- * 続いては、NPO法人でタイ、ベトナム学生に対する日本語教育に携わっている 富平さんが、ベトナム出張のおりにスーパーを探して手に入れたというベトナム土産のワイン。かつてはベトナム戦争で地雷原だった地で栽培されたというワインを格別な思いで味わった。



飲んで 食べて またまた飲んで 幸せだなあ〜

- * 今回も「カサグランデ」が用意の特別メニューにワインの味が一層ききたつなか、持参したワインについての会員の説明をきっかけに、話題は「ヨーロッパではワインより水の方が高価」という話から「東京の水道水もおいしくなった」と話は弾んでいく。



マダムお手製のお料理はワインにぴったり！ 鳥のスティックは前日からワインや香料に漬けておいて今揚げて下さったとか・・・おいしい！！

* ワインを飲みながらの恒例「ワイキキタイム」。今日のテーマは「ワインセラー」。ワインショップの棚に並ぶワインとワインセラーの中にあるワインの違いは何か、ワインセラーがない自宅でのワインの保存法と注意点などについて確認した。



ボトルチェック！ 風味チェック！ 年代チェック！ 味わいチェック！
そして今日も真面目にワイキキタイム！！

* グラス片手の2時間は賑やかな談笑のうちに8本のボトルを空にして過ぎていった。コーヒータイムに入ったところで、ワイン研会長から「次回は都内唯一のワイナリー・東京ワイナリーの若き女性経営者・越後屋美和さんをゲストに招いて、東京でのワイン生産にかける意気込みなどを伺ってみたい」との提案あり、全員大賛成、次回を楽しみにして、3月例会は散会となった。

* 常連のカラオケ会長・野村さん欠席ながら、歌好きの4名はこのあとカラオケ店へ繰り出して熱唱、いつものパターンを堅持(?)した。



- ☆この日空にしたボトル 左から
- ・ライン リースリング 2004 (白) (セルビア)
 - ・ヴァン ダラット プレミアム (ベトナム)
 - ・コノ スル スパークリング (チリ)
 - ・アステイカ シャルドネ (白) (アルゼンチン)
 - ・井筒ワイン コンコード (日本)
 - ・マドンナ 100周年アニバーサル (ドイツ)
 - ・ルッツウィル ヴァインテージ (南アフリカ)
 - ・シャトウ ペラボン 1998 (フランス)

次回の第15回例会は、4月17日(金)、「カサグランデ」で初めてゲストを迎えての開催を予定。会費は2,000円＋任意のワンコイン寄付です。会員制ではありませんので、当日ワインを楽しみたい方、どなたでも歓迎。手ぶらで気軽にご参加ください。ただし、準備の都合あり、4月12日(日)までに井垣(090-1196-1471)に参加申し込みの上、ご出席ください。(尚お料理を別に用意して貰いますので、当日のキャンセルには1,500円頂きます)

(文 井垣 写真 荒木)